

第4回 はばたき ミニコンサート

2014
10/11
14:00 開演



オペラとシャンソンの歌声とピアノの演奏で
楽しい曲や馴染みのある曲をお楽しみください

日時：2014年10月11日（土）14:00-16:00 会場：サロン・ド・パッサージュ

●シャンソン 伊藤 雅治（いとう・まさはる）

1968年新潟大学医学部卒、1971年厚生省入省。厚生省在職中に薬害エイズ訴訟の東京地裁和解勧告を受け、薬害エイズ感染者の恒久医療対策で原告団との交渉にあたる。2001年厚生労働省退官。現在全国訪問看護事業協会会長、NPO日本慢性疾患セルフマネジメント協会理事長、患者の声協議会世話人。7年前よりプロのシャンソン歌手リリ・レイ（長坂玲）先生に師事しシャンソンの勉強中。



Program

シャンソン

Il n'y a plus d'après あとには何もない
Sous le toits de Paris パリの屋根の下で

歌曲・オペラアリア

花の街

Alleluia アレルヤ

ドン・ジョヴァンニから「カタログの歌」
フィガロの結婚から「もう飛ぶまいぞ、
この蝶々」

ピアノ

ショパン ソナタ第3番 第1楽章 他

トーク

皆で歌おう



●歌曲 水口 真寿美（みなぐち・ますみ）

1989年弁護士登録。東京HIV訴訟、ハンセン病国賠訴訟、薬害イレッサ訴訟等を担当。薬害オンブズパースン会議の事務局長を1997年の設立時から現在までつとめている。厚労省の薬害肝炎検証再発防止委員会委員（2008～2010年）。高校時代はマンドリン・オーケストラの指揮者をしてきた。歌は約10年前に始めたが、多忙のために長らく中断。はばたきミニコンサートのためレッスンを再開した。

アクセス



●オペラアリア 大熊 一夫（おおくま・かずお）

ジャーナリスト、元朝日新聞記者。1970年アルコール依存症を装って精神病院に潜入し、『ルボ・精神病棟』を朝日新聞に連載、患者虐待を白日のもとに。元大阪大学大学院教授、日本の国立大学初の福祉系講座初代教授。37歳にしてオペラ歌手に弟子入り。1990年ヴェルディのオペラ「リゴレット」のタイトルロールを歌ったのが自慢のタネ。静岡の慈善コンサートのポスターに「世界でただ一人、歌うジャーナリスト」と書かれて狂喜。

●ピアノ 内藤 麗（ないとう・れい）

ピアノが大好きで、演奏活動を行う。2009年大阪国際音楽コンクールヴィルトーゾ部門第2位など。東京大学法学部/米国ミシガン大学卒。MSD(株)(旧万有製薬)を経て、現在アラガン・ジャパン(株)で医薬政策・広報・法務・コンプライアンスを担当。兄を薬害で亡くした経験より、人々が医療をきちんと理解し知ることができる環境作りがモットー。患者会支援にも携わり、製薬協広報委ベネチント・グループ部会長を務め、患者の声協議会の設立を後押し。



はばたきミニコンサートとは

薬害のこと～そこで起きたこと、今起きていること、これからのこと～ 私たちに何ができるのか、少しでも知る・考えるきっかけになってほしい。

その思いのもと、当事業団を応援する仲間と来場者が一緒に作り楽しむコンサートを目指しています。

このコンサートは、賛助会員の皆様にご来場いただけます。賛助会員以外の方は、賛助会員にご加入していただければご来場いただけますので、はばたき福祉事業団までお問い合わせください。

●お問い合わせ先：社会福祉法人はばたき福祉事業団 Tel:03-5228-1200 / Email:info@habataki.gr.jp